

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称: 育ち盛り)
～ハンガリーの利下げについて～

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

3月29日、ハンガリー国立銀行(中央銀行)は政策金利である2週間物預金金利を0.25%引き下げ、従来の5.75%から過去最低水準の5.50%にしました。政策金利引き下げは市場の予想通りであり、2009年7月以降9ヶ月連続となりました。

【ハンガリー経済の現状について】

今回利下げが行われた背景として、同国に対する信用リスクが改善していることと、通貨(ハンガリー・フォリント)が堅調な推移をしていることが挙げられます。

2008年10月以降、ハンガリー経済は世界的な金融危機の影響を受け、深刻な状況に陥りました。同国は財政の悪化に伴い、国際通貨基金(IMF)、欧州連合(EU)、世界銀行から合計200億ユーロの緊急融資を受けたほか、通貨(ハンガリー・フォリント)の下落を抑制するために政策金利を11.50%にまで引き上げる措置をとるなど、経済は危機的な状況に見舞われました。

しかしその後、経済が落ち着きを取り戻してからは、積極的な金融緩和政策を行い、政策金利はピーク時の11.50%から現状の5.50%まで合計6.00%引き下げました。その結果、市場からの同国に対する信用リスクは改善が見られること、及びギリシャの財政問題が波及するリスクが後退していることから、通貨(ハンガリー・フォリント)は、足下では堅調に推移しています。

ハンガリー経済の2009年9-12月期の実質GDP成長率(前年同期比)は-4.0%と7-9月期の-7.1%からは改善の兆しが見られるものの、依然としてマイナス成長となっており、今回の利下げによって更なる景気刺激を狙ったものと考えられます。

【今後の運用方針について】

ハンガリーでは今後インフレ圧力の低下が予想されています。2月の消費者物価指数(前年同月比)は5.7%と中央銀行の目標値である3.0%を上回る水準ですが、金融政策委員会は2011年には2.3%まで低下すると予想しております。スタンディッシュ社では、通貨が安定的に推移すれば、今後も利下げを行い、景気刺激を継続していくと考えております。

通貨(ハンガリー・フォリント)について、同国が多額の対外債務や公的債務、経済の先行き不透明感などの不安定要素を抱えていることから、ベンチマーク比低めの組入れを行って参ります。

ハンガリー債券について、インフレ懸念が沈静化していることや、更なる利下げを見込んでいることから、ベンチマーク比高めの組入れを行って参ります。

スタンディッシュ社では、引き続き経済情勢や市場動向を注視して運用を行って参ります。

(ご参考)

2010年2月末時点におけるマザーファンドの組入れ比率

ハンガリー債券:10.8% ハンガリー・フォリント:9.1%

(2010年2月末時点におけるベンチマーク*のハンガリー組入比率:債券・通貨とも各10.0%)

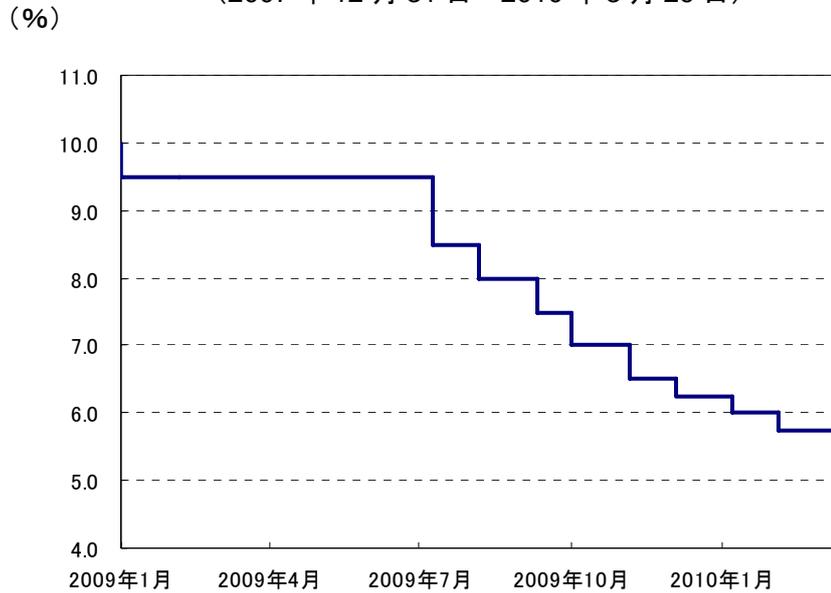
※ベンチマークはJPモルガン GBI-EM Diversified 指数(ヘッジなし、円ベース)です。

以上

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

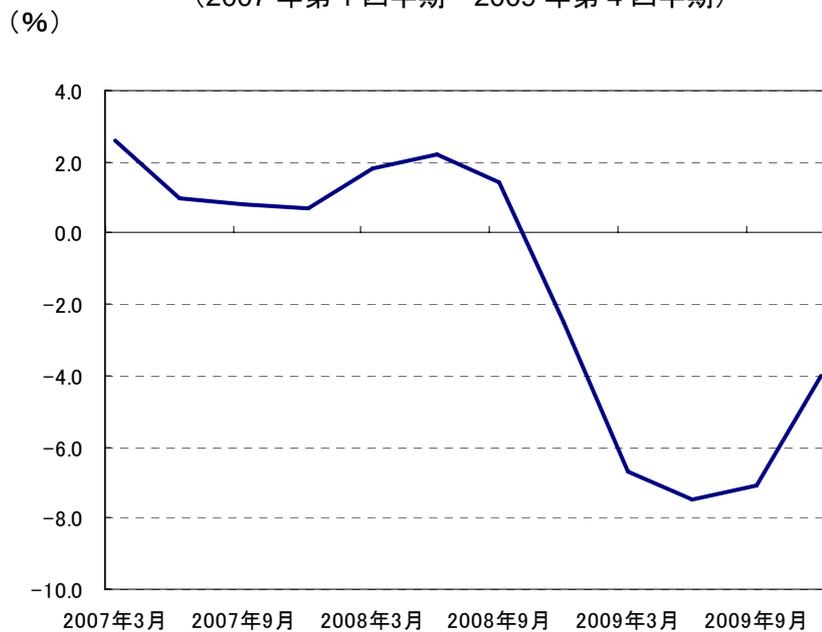
【ご参考】

ハンガリー:政策金利の推移
(2007年12月31日~2010年3月29日)



(出所)ブルムバーグ

ハンガリー:実質 GDP 成長率(前年同期比)の推移
(2007年第1四半期~2009年第4四半期)



(出所)ブルムバーグ

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会